



人を憂う



本日、3年生が参加しての最後の全校集会を行いました。

12日には、公立一般選抜があり、14日が卒業式とさまざまな感情が入り乱れる1週間となりますが、3年生には今まで通り、最後まで頑張り続けてほしいと思います。3年生にお話ししたいことは卒業式に式辞として、しっかり話したいと思います。

今日の全校集会でお話したことを紹介します。

『世の中にはいろいろな調査がありますが、「どんな人が好きですか?」と聞かれて一番多いのはどんな人だと思いますか?・・・**「優しい人」**と答える人が男女ともに多いそうです。では、「どんな人になりたいですか?」と聞かれて一番多いのはどんな人だと思いますか?実は、これも「優しい人になりたい」と答える人が多いそうです。では、優しいとはどういうことをいうのでしょうか。「優しさ」とは「心」の問題です。心なので見えません。また、人の心は、今まで喜んでいたら思ったら落ち込んでいたり、笑っていたら急に怒り出したりと一瞬一瞬で変化します。だから、「優しさとはなにか?」と聞かれても難しいと思います。だから、こうじゃないかなあと思うことを話したいと思います。それは「優」という文字から考えます。「優」の部首は“にんべん”です。つくりは“憂”、これは憂う(うれう)ということです。だから、優しいとは「人を憂う」という意味です。人の悲しさや苦しさ、さびしさを思いやり、寄り添うことのできる心が「優しさ」ということではないでしょうか。また、この字は優秀や優勝の「優」という字です。「優しい人」、人の心がわかる人が人として優秀な人だと思います。成績のいい人を優等生と言いますが、校長先生は**優しい人が本当の意味での「優等生」**だと思います。**優しさとは人間として一番人間らしい生き方**であると信じたいと思います。みんなはどうでしょうか?』

今日、3年生は、卒業式を行う鶴見区民ホールで初めての練習を行いました。全体合唱の隊形の確認や歌唱、卒業証書授与の作法の練習、入退場など短い時間で集中した練習を行っていました。そして、その一つ一つの所作に43期生の成長が見て取れました。13日は予行です。堂々と晴れ舞台に臨めるように頑張りましょう。